

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 高齢大腸がん患者の術後身体機能低下予測における G8 の有用性
研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2026年3月31日
研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2023年1月～2024年12月に当院で大腸がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

日本では、高齢化が進むにつれて手術を受けられる高齢のがん患者さんが増加しています。高齢のがん患者さんでは、術後に合併症といわれる新たな病気になったり、体力が低下したりする危険が高いです。そのため、手術前からそういった危険性を把握しておくことが重要です。G8という質問票は、高齢がん患者さんの体力や生活のしやすさなどをチェックするものであり、手術後に合併症になるか、術後にどれくらい長く生きることができるか、化学療法や手術に耐えられるか、などを予測するものとして最近医療の現場で使われています。手術前にG8を使って、手術後に体力が低下するかどうかを予測することができれば、手術後に体力が低下する恐れのある患者さんに対して、手術前から積極的にリハビリテーションを行い、手術後の体力や日常生活動作能力の低下を防ぐことができると思われれます。

当院で大腸がんの手術で入院された患者さんの診療情報をカルテから収集させていただきます。対象は、2023年1月～2024年12月に当院にて大腸がんに対して手術を受けられた65歳以上の方です。調査項目は、年齢、性別、BMI、診断名、既往歴、術式、手術時間、出血量、手術前のG8、体力検査(握力、6分間歩行距離、5回椅子立ち上がりテスト)です。G8の点数が高い患者さんと低い患者さんの2つのグループに分けて、手術前後での体力の変化の程度を比べたり、G8の点数と体力変化の程度が関係しているかを調べたりします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別、BMI、病歴、既往歴、握力、等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者及び試料や情報の提供先である中神孝幸が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。

2025年10月7日作成

(様式4)

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター リハビリテーション技術科 中神 孝幸(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)